

おおもり

令和2年1月7日

東根市立大森小学校
学校だより89号

年の初めにあたり

今年の干支は「子年」、繁栄の年と言われます。また、子年は干支の一番目ということもあり、「新たな始まり」の意味もあるのだそうです。

大森小学校も今年、「10年目の節目」を迎えます。

私たち職員も、これまでの9年間で積み上げてきた伝統を大切にしながら、新しい知恵とアイデアを盛り込み、地区内はもとより、県内・全国においても一目置かれる学校・・・「日々躍進していく学校」を目指すことを誓い合い、心も新たに3学期をスタートしました。

保護者・地域の皆様におかれましても、開校10年目の年となる本年・・・、様々、ご協力をいただくこともあろうかと思いますが、子どもたち一人一人の健やかな成長のため、ぜひ、お力をお貸しいただければと思います。



3学期始業式前の子どもの「凜」とした姿に感動!!

1月7日(火)の始業式・・・、5分前に体育館に入ったところ、始業式の開会を待つ子どもたちの「凜」とした姿にとっても感動しました。年の初めに心穏やかに、年頭のあいさつを交わすことができることに喜びを感じるとともに、一人一人の更なる成長を予感する姿に出会えたことをとてもうれしく思いました。

3学期の始業式では・・・。

3学期の始まりにあたり、子どもたちに次のような話(要点のみ)をしたところ です。

今は暦の上では「小寒」となり、寒い季節に入りました。あと2週間もすれば今度は「大寒」、今よりももっともっと寒くなり、一年で一番寒い季節に入ります。実は、この「寒い冬」が、野山の草木にとっては、次に大きく伸びるためにとっても大切な時期であると言われています。

春に咲く草花も、寒い冬をじっと耐えて我慢し栄養を蓄え、暖かい春が来たら、一気に美しい花を咲かせます。

つまり皆さんも、この寒い時期、3学期の間に十分力を蓄えて、春には大きく花開くようにしてほしいと思っています。そのためには、この年末年始の休みの中で考えた「令和2年の目標」や、「3学期のめあて」をしっかりと頭に入れて、決してあきらめたり 投げ出したりしないで やり遂げる努力をすることが大切です。

3学期に学校に来るのは、今日を入れて49日と限られています。

この期間で、今の学年でやっておくべき勉強や心の準備をしっかりと仕上げ、自信を持って新しい学年・新しい学校へ進むための用意をして欲しいと思います。私たち職員も、一生懸命目標に向かって努力する皆さんを、精一杯応援していきます。(後略)



努力する子どもたちに、ぜひお声がけを・・・。

今年度も残り3か月・・・。「めざす自分」になるために努力する子どもたちが、自信を持って次のステージへ進んでいけるように、保護者の皆様や地域の皆様からも「たくさん声をかけていただき、そして褒めていただいて」、子どもたちの「元気・本気・笑顔」をいっぱい引き出してもらえればと思っています。

どうかよろしく願いいたします。

(校長 土屋 常義)